学校番号	304

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版 高等学校 言語文化　（数研出版）						
副教材等	「新訂版 最新国語便覧」（浜島書店） 「イラストとシーンでおぼえる Look@古文単語 337 改訂版」（尚文出版） 「四訂版 力をつける古文 ステップ 1」（数研出版） 「五訂版 読解をたいせつにする体系古典文法 準拠ノート」（数研出版） 「十訂版 読解をたいせつにする体系古典文法」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、我が国の言語文化への理解を深めましょう。
・古典の時間では、有名な古典作品に親しむとともに、心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後にはしっかり復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会にかかわったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期中間	古文(説話集/歴史的仮名遣い、品詞分解、動詞) [教材] 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 (宇治拾遺物語)	a:古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動。 c:説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト
	古文(随筆/動詞、形容詞、形容動詞) [教材] 「春はあけぼの」 「ありがたきもの」 (枕草子)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト
一学期期末	古文(歌物語/動詞、形容詞、形容動詞) [教材] 「芥川」 「筒井筒」 (伊勢物語)	a:古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。また、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 [読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。古人の季節感に興味をもち、他者の考えも参考にしながら、時代の変遷とともにある日本人の自然観について考えを深めようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト
	小説 [教材] 「羅生門」 「山月記」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。	定期考査	記述の確認 及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト

		c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。			
二学期中間	古文（随筆/助動詞） 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」 「奥山に猫またといふものありて」 「神無月のころ」 （徒然草）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト
二学期期末	古文（日記/助動詞） ［教材］ 「門出」 「帰京」 （土佐日記）	a：古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならわしについて知り、日記の意義について考えようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト
	漢文（思想書） ［教材］ 「論語」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文訓得のきまりを理解しようとしている。『論語』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト
三学期	古文（軍記物語/助動詞、敬語） ［教材］ 「木曽の最期」（平家物語）	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。	定期考査	記述の確認 及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト

		b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。			
	漢文(故事) [教材] 「狐借虎威」(戦国策)	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	定期考査	記述の確認 及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト
	小説 [教材] 「舟を編む」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　　…　（　60　）時間